

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31206A	茶華道入門(茶道) Intro: Tea Ceremony	小笠原愛子	✓	基礎	1	選択	1・2前期

科目の概要

【建学の精神・社会人基礎力】 茶道の稽古(基本所作/客/水屋準備/点前)を体験し、自らを律して行動する難しさと必要性を知る。
 【学習した知識技能を活用】 茶会を開催。和敬清寂(自他に敬意を払い感謝の心を表現、もてなしもてなされお茶を味わう)を体感する。互いの想いを敬い察する力を養う。
 【広い視野を身につける】 茶道の知識や精神(歴史/美術/建築/食文化/季節・茶花・禅など)を学び、自分なりの興味見解をもつ楽しさを知る。
 【自己研鑽】 日本の茶の湯文化に触れ、各自の成長の一助とする。

・本講座は、はじめの茶道として初歩の内容をする。
 ・茶室で授業のため、敷に座する。点前し、客としてお茶やお菓子を実際に頂く稽古をする。
 ・茶道全般の実務経験があり、所作・点前について稽古・茶会開催を行い、もてなしの実践的な実習を行う。
 お茶は、時や季節・場所・味・匂い、美術などを同席者(人)と共有する楽しいものです。より心地よく【おいしいお茶をいただく】ためにはどのようにしたらよいか。稽古を通じて共に学びあう。

学修内容	到達目標
① 素直に繰り返し所作の稽古を実施する。 ② 所作や道具の名称、用語を知る。 ③ 茶道の知識・精神(歴史・文化・人物・禅・花等)を学ぶ。 ④ 茶会の準備学習・稽古を協力して実施する。 ⑤ 茶会を開催し、主客共、和敬清寂の心でもてなし合う。	① 自分の心身の変化を感じることができる。 ② 所作や道具の名称、用語を覚え、効果的な稽古を行うことができる。 ③ 茶道を通して物事を考察する努力ができる。 ④ 茶会で自分の役割を果たし和敬の心で参加できる。 ⑤ 静寂の中、「おいしくお茶をいただくこと」ができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	所作・点前の修得のため、シラバスやプリント・本で、自発的に学習することができる。また、他者のそれをよく見学し素直に学ぶことができる。
	働きかけ力	
	実行力	失敗してもあきらめず、とにかく反復練習(復習)することができる。「和敬の心」の基本を守り、他クラス・他学年にも自ら挨拶を実践できる。
考え抜く力	課題発見力	自主学习でもよく学び、稽古し、自分自身を客観的に見つめて分析することができる。和敬の心でルールを守ることや美しい所作には、どのような利点があるか考えることができる。
	計画力	
	創造力	茶道の知識・精神・所作を取り入れることで生活や心身が、どのように変化するか見つけることができる。
チームで働く力	発信力	茶室では、しつらえや佇まいで主旨や思考を伝え、お互いを察する知識と力量が問われる。そのつもりで、静寂の中、五感を研ぎ澄まし行動することができる。
	傾聴力	うなずきをもって話しを聞くことができ、掲示や板書なども素直に受け止めることができる。いつも自他を敬い、その心を表わす努力ができる。
	柔軟性	
	情況把握力	稽古(茶会)の流れを把握して、身支度し、水屋仕事、片づけなど自分の役割を考えて協力することができる。和敬清寂の空間を生み出す努力ができる。
	規律性	茶道をする(生きる)には、ルールを守ることが最も重要と心得て振舞うことができる。テストやレポートを真面目に取り組み期限に提出できる。他に迷惑をかけたときには、適切な行動をとることができる。遅刻無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
ストレスコントロール力		

テキスト及び参考文献

テキスト: 「はじめの茶の湯」【2090円】千宗佐・蒼/主婦の友社購入。また、必要時にプリントや掲示で示す。
 茶道用具の購入と水屋料が必要※第1回目に納入用紙配布し各自納金。講義15回終了時に精算する。
 ・茶道用具: 服紗(女、朱色 男、紫) 扇子(茶道用) 懐紙 懐紙ばさみなど【約10000円】
 ・水屋料: お茶、お菓子などの購入費 【約6000円】

※他流派の用具を使用する場合、講座第1・2回目に持参し必ず講師に許可を得てください。
 ※茶道用具なく履修不可。
 ※身支度として、鞆下(白色または無地や) ベルトまたは紐も必要。
 ※自宅学習用の茶道具敷点(代用品可)1回目講義にて説明する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連: なし
 資格との関連: なし

学修上の助言	受講生とのルール
稽古中は、メモが取れない(口伝での稽古)。よって、常に集中して話を聞き、臆せず反復練習し覚えることよい。そして記憶を整理しまとめるとよい。稽古中に聞いた知識や配布されたプリントをもとに知識を広げることでも自信につながる。茶道では、社会人基礎力を総合的に発揮することが望まれる。あきらめずに努力し、努力を楽しむことが大切。自宅学習では、見立ての道具で良いので工夫して稽古することよい。	茶室では、長い髪は束ねる、長い爪・華美なネイル、指輪など装飾、香水は基本禁止。清潔な靴下を着用する。洋装は膝がかくれるスカートまたは長ズボン着用する。私物、携帯スマホの持ち込み不可。茶道以外の私語をしない、欠席、忘れ物をしない。各自が、掲示(日程や課題改善点ヒント班分けなど)茶室の板書を把握し規律を守って行動する。すべて和敬の心。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	20	①		出題範囲は、各時点で学習した内容とする。 小テストの点数を平均して判定する。 1. 授業内容を理解できているか（講師が口頭で伝えたことを記憶できたか）確認する。 2. 授業内容から得たことをどのように受け止め感想を持てたか。 3. 予習復習による配布プリントの習熟度を確認する。 手書きにて記入すること。
				②	✓	
				③	✓	
				④		
				⑤		
		レポート	40	①	✓	1. 予習、復習。個々に進めた自主学習のレポートを2回提出する。 (例：所作や点前手順のまとめ。知識、人物についてなど各々課題設定) 2. 茶会后レポート用紙は事前に配布され、最終日（茶会の後）に提出する。 (例：茶道を体験し、何を身に着け、何に気づいたか。今後にどのように繋がられるか、興味・見解を自分の言葉で書く。) 基本的に、手書きにて作成する。
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓	・稽古での、各自の成長度合いを評価する。自宅学習の成果を評価する。 (茶室での振る舞い、稽古の取り組み方、応答や習った所作の実技や和敬の心に対する理解など) ・口伝での授業や掲示物や板書の内容把握度合いや対応能力の向上を評価する。 ・茶道用具の準備が期限内にできたか。 ・他に迷惑になる言動や欠席遅刻。失敗した場合などは、反省し速やかな報告連絡相談ができるか。 ・まとめの茶会の評価(1 1 週目以降の評価) 上記を総合して評価する。
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 他者のすべて（言動、技術、学習姿勢、成長、失敗など）をよく見学し素直に学ぶことができる。 (実行力) 自分のことを優先せず和敬の心で取り組むことができる。 (課題発見力) 自主学習でよく学び、稽古に取り組むことで、自分自身と向き合う努力ができる。 (創造力) 茶道を生活に取り込むとどのように変化が起こるか、考える努力が出来る。 (発信力) 学習で得た知識・精神、所作をもとに、茶室においてそれらを表現する努力ができる。 (傾聴力) うなづきをもって話を聞き、素直に受け止めることができる。 (状況把握力) 茶会・茶道稽古を成功させるべく、自分の役割を考えて協力することができる。 (規律性) 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず授業を円滑に進行するようルールを守ることができる。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>(優) = 積極的に修練を積み、点前や所作の習得した(学習前との成長がある)。茶道の知識や禅語を理解する努力をする。「和敬清寂」の精神を学び、道具や相席のものへ敬意を払い感謝の心を表現しようとする。以上を稽古中と小テスト・レポートの出来栄で評価する。</p> <p>(秀) = (優)に加えて、提出物の出来栄が特に具体的で優れている。または実習(学習前との成長がある)で他の良き見本となる能力を発揮する。更に、「道具、茶花、菓子などに興味を持ちそれに関わる人物・季節感・味などに感想をもて、茶道を生活に生かすことを考えることができる。以上を稽古中、小テスト・レポートの出来栄で評価する。</p>	<p>(可) = ルールを守り、うなづきをもって傾聴し稽古に取り組む努力ができる。相席のものに礼・挨拶する努力ができる。(良) = (可)に加えて、他者を手本として学び、所作(学習前との成長がある)や道具の名称、用語を記憶し稽古を円滑に行う努力をした。「和敬」の精神を学び「おいしくお茶をいただく」ことができた。以上を稽古中と小テスト・レポートの出来栄で評価する。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	茶道用具や身支度、ルールについて。和敬清寂、表千家について所作(歩く立つ座る礼など)	プリントにて座学。所作実習	シラバスの内容を読み、茶道にのぞむ心構えと茶道用具の準備が期限内にできる。	茶道用具の準備や身支度を整えるための準備。1週目習った所作実践し復習。用具購入。茶道用具の名前を覚える。	90	主体性 傾聴力 規律性
2	割稽古 所作稽古 茶道の知識	プリントにて座学。割稽古実習(第5週目までは基礎の所作と点前所作を部分的に学習)	ルールを守りプリントの内容をよみ、茶道にのぞむ心構えと身支度の準備ができる。	1～2週目習った所作実践と知識の復習をし、記録をまとめる(レポートの準備兼ねる) シラバスを読み予習。茶道用具の名前を覚える。	150	主体性 傾聴力 規律性
3	割稽古 所作稽古 茶道の知識 (床についてと拝見など)	割稽古実習(第5週目までは基礎の所作と点前所作を部分的に学習) 小テスト(小テストで理解不足な点は助言を記入し返却か、次回以降稽古内で補足)	ルールを守りうなずきをもって傾聴し稽古に取り組む努力ができる。	「茶道ことはじめ」プリントを読み予習1～3週目習った所作実践と知識の復習をし、記録をまとめる(レポートの準備兼ねる) シラバスを読み学習。茶道用具の名前使い方を覚える。	150	主体性 実行力 傾聴力 規律性
4	割稽古 所作稽古 茶道の知識	割稽古実習(第5週目までは基礎の所作と点前所作を部分的に学習) 実技、協力	ルールを守りうなずきをもって傾聴し稽古に取り組む努力ができる。相席のものに礼・挨拶する努力ができる。	1～4週目習った所作実践と知識の復習をし、記録をまとめる(レポートのまとめ) 「茶道ことはじめ」プリントを読み学習。特に茶道用具と道具の名前使い方、用語を覚える。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	割稽古 所作稽古 まとめ 茶道の知識	割稽古実習(第5週目までは基礎の所作と点前所作を部分的に学習) 小テスト(小テストで理解不足な点は助言を記入し返却か、次回以降稽古内で補足) 実技、協力 レポート提出	ルールを守りうなずきをもって傾聴し稽古に取り組む努力ができる。相席のものに礼・挨拶する努力ができる。	1～5週目部分的に習った点前を文及び図で記録し復習する(レポートの準備兼ねる)「茶道ことはじめ」プリントを読み学習 特に茶道用具と道具の名前使い方、用語を覚える。	150	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	点前・客の割稽古 茶道の知識	稽古(第10週目まで班に分かれて順に実習) 実技、協力	ルールを守りうなずきをもって傾聴し稽古に取り組む努力ができる。相席のものに礼・挨拶する努力ができる。	1～6週目部分的に習った点前を文及び図で記録し復習する(レポートの準備兼ねる)「茶道ことはじめ」プリントを読み学習	150	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	点前・客の割稽古 茶道の知識	稽古(第10週目まで班に分かれて順に実習) 実技、協力	ルールを守りうなずきをもって傾聴し稽古に取り組む努力ができる。相席のものに礼・挨拶する努力ができる。	1～7週目部分的に習った点前を文及び図で記録し復習する(レポートの準備兼ねる)「茶道ことはじめ」プリントを読み学習 特に茶道用具と道具の名前使い方、用語を覚える。	150	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	点前・客の割稽古 茶道の知識	稽古(第10週目まで班に分かれて順に実習) 実技、協力	ルールを守りうなずきをもって傾聴し稽古に取り組む努力ができる。 和敬の精神を考える努力ができる。	1～8週目部分的に習った点前を文及び図で補足記録し復習する(レポートの準備兼ねる)「茶道ことはじめ」プリントを読み学習 特に茶道用具と道具の名前使い方用語を覚える。 自分なりに茶会を想像し役割や希望、目標が持てるよう準備する。	150	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	点前・客の割稽古 茶道の知識	稽古（第10週目まで班に分かれて順に実習） 実技、協力	ルールを守りうなずきをもって傾聴し積極的に稽古に取り組む努力ができる。 和敬の精神を考える努力ができる。	1～9週目習った点前を文及び図で補足記録し復習する（レポートをまとめる） 「茶道ことはじめ」プリントを読み学習 特に茶道用具と道具の名前使用方用語を覚える。 自分なりに茶会を想像し役割や希望、目標が持てるよう準備する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	点前・客の稽古まとめ 茶道の知識	稽古（第10週目まで班に分かれて順に実習） 実技、協力 レポート提出	ルールを守りうなずきをもって傾聴し積極的に稽古に取り組む努力ができる。 和敬の精神を考える努力ができる。	1～10週目習った所作知識の復習。「大寄せの茶会」についてプリントを読み予習し、自分なりに茶会を想像し役割や希望、目標を考える。次週発言できるように予習。 特に茶道用具と道具の名前使用方用語を覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 状況把握力 規律性
11	これまでのまとめ。 大寄せの茶会について学習。 (おいしいお茶を点てること。 おいしくお茶をいただくこと。)	座学 チーム事に会議 質問、応答、協力 「茶会后レポート」の課題提示。	チームに協力し、自身の担当と全体の茶会ながれを把握する努力をする。 和敬の精神を考える努力ができる。	茶会の学習内容で不明な点は解消しておく。 稽古の復習。今までの所作復習と知識復習すること。レポート課題を書きすすめる。 「大寄せの茶会」についてプリントを読み予習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
12	主客に分かれて茶会の稽古 (おいしくお茶を点てること。 おいしくお茶をいただくこと。)	茶会の稽古 (主客いれかえて実習し、各チーム事により良くするための修正を行う) 実技、応答、協力	チームに協力し、自身の担当と全体の茶会ながれを把握する努力をする。 和敬の精神を考える努力ができる。	今までの所作復習と知識復習すること レポート課題を書きすすめる。 「大寄せの茶会」についてプリントを読み予習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
13	主客に分かれて茶会の稽古 (おいしくお茶を点てること。 おいしくお茶をいただくこと。)	茶会の稽古 (主客いれかえて) 実技、応答、協力	チームに協力し、自身の担当と全体の茶会ながれを把握する努力をする。 和敬の精神を考える努力ができる。	茶会①の役割確認と身支度を整える。レポート課題を書きすすめる。 「大寄せの茶会」についてプリントを読み予習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
14	まとめ 茶会を楽しむ① (主は、静寂の中もてなす。客は、主旨をうけとめる。) 総括	茶会体験 (主または客のみ。) 総括に於いて発言 実技、応答、協力 レポートへ茶会感想を記入	稽古を踏まえ、心静かに茶会の一員として行動し茶会を楽しむことができる。 和敬の精神を考える努力ができる。	茶会②の役割確認と身支度を整える。レポート課題を書きすすめる。 「大寄せの茶会」についてプリントを読み予習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 状況把握力 規律性
15	まとめ 茶会を楽しむ① (主は、静寂の中もてなす。客は、主旨をうけとめる。) 総括	茶会体験 (主または客のみ。) 総括に於いて発言 実技、応答、協力 レポートへ茶会感想を記入	稽古を踏まえ、心静かに茶会の一員として行動し茶会を楽しむことができる。 和敬の精神を考える努力ができる。茶会后レポート提出			主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31206B	茶華道入門(華道) Introduction to Tea Ceremony & Flower Arrangement	舟橋久子	✓	基礎	1	選択	1・2前期

科目の概要

将来、人の生活や心を豊かにすることができる社会人になるために、まずは、自分の興味を広げ、心を豊かにし感性を磨きましょう。そのための第一歩として、日本文化の一つである華道と海外で生まれたフラワーデザインの基礎を学びます。
★フラワーデザインスクール主宰者として、わかりやすく説明し、基礎を身に付けていく。そして、その中で建学の精神と社会人基礎力の習得を目指していく。

学修内容	到達目標
① 華道の基礎を学び、体験、習得する。 ② フラワーデザインの基礎を学び、体験、習得する。 ③ 植物の扱い方を知る。 ④ 花を通じ色彩の働きを理解する。 ⑤ グループで作品を作る場合、協力して作成する。	① 華道の基礎的な形を生けることができる。 ② フラワーデザインの基礎的な形を作ることができる。 ③ 植物の特徴を判断し、使うことができる。 ④ 色によるイメージの違いを感じることができる。 ⑤ 周りを配慮し協力することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	技術習得のため自ら練習をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	作品を仕上げるにあたり、手順や方法を考えて進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	作品を仕上げるために、正しい手法や知識を選ぶことができる。
	計画力	
	創造力	基本を理解したうえで、応用することができる。
チームで働く力	発信力	聞き手にわかりやすく話すことができる。
	傾聴力	人の話を柔軟に聞くことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。
 プリントを適宜配布する。
 実習花材費：15700円（15回分の花代とその他の材料費）

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし
 資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
作品のスケッチまたは写真を撮り、使用した花材の名前や、特徴を覚えましょう。 自分の作品だけでなく他の人の作品も、よく観察しましょう。	授業で配布したプリントは、毎時間持参する。 携帯電話は、電源を切るか、マナーモードにし、かばんにしまっておくこと。 お花は生ものです。入荷状況により、学修内容または順序を変更する場合があります。ご了承ください。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	20	①	✓	10回の小テストを行う。 10回の小テストの点数を平均して判定する。 ①授業内容を理解しているか確認する。 ②穴埋め問題を出題する。 出題範囲は、各時点までの授業で学修し、指定した部分とする。 生け花の歴史、花の形による分類、水上げ方法、花留め、色の働き、花形図などを出題する。
				②	✓	
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	70	①	✓	作品は、ポイントを押さえ、植物を活かし、綺麗に形ができていない場合：60点～70点 ポイントを押さえ、形ができていない場合：50点 ポイントを押さえ、一応形ができていないが、修正の必要がある場合：35点 を基準とし評価し、すべての作品の点数の合計で評価する。		
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	(主体性)・授業へ積極的に参加し、自発的に実技に取り組むことができる。 (実行力)・作品を仕上げるにあたり、正しい手順を進めることができ、片付けまでできる。 (課題発見力)・正しい手法や知識を使い作品を仕上げるができる。 (創造力)・基本を理解し、素材を生かしたり、応用できる。 (発想力)・わかりやすく話そうとする姿勢ができていない。 (傾聴力)・「うなづき」など話を聞く姿勢ができていない。 (規律性)・遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 ・提出物の未提出は1回につき1点減点する。 ・持ち帰った花の作品の写真を撮る宿題をやっていない場合は、1回につき0.5点減点する。	
			②	✓		
			③	✓		
			④			
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>Sの基準：小テスト平均80%以上の点数と、実技で『課題のポイントを押さえ、形ができていない : 50点/70』が10回以上。さらに『課題のポイントを押さえ、植物の特徴を生かし綺麗に形ができていない : 60点/70』が1回以上。</p> <p>Aの基準：小テスト平均70%以上の点数と、実技で『課題のポイントを押さえ、形ができていない : 50点/70』が9回以上。</p>	<p>Bの基準：小テスト平均60%以上の点数と、実技で『課題のポイントを押さえ、形ができていない : 50点/70』が6回以上。</p> <p>Cの基準：小テスト平均60%以上の点数と、実技で『課題のポイントを押さえ、形ができていない : 50点/70』が3回以上。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	いけばなの基本的な形を学ぶ。 直立形盛花	講義 実技 作品チェック	基本の位置に、おおよそ花を生けることができる。	(復習)持ち帰った花材を、工夫して飾ること。 (復習)次週直立形盛花図を書く小テスト行うため復習しておくこと。	90	主体性 規律性
2	いけばなの簡単な歴史を知り、 いけばなの基本的な形を学ぶ。 直立形盛花	講義 実技 作品チェック 小テスト・答あわせ・ 解説しフィードバックする	基本の位置に、おおよそ花を生けることができる。	(復習)持ち帰った花材を、工夫して飾り写真を撮ること。 (復習)次週直立形盛花図を書く小テスト行うため復習しておくこと。	90	主体性 規律性
3	フラワーデザインとは何かを知り、 フラワーアレンジメントの基本的な形を学ぶ。 トライアングュラススタイル	講義 実技(グループワーク) 作品チェック 小テスト・答あわせ・ 解説しフィードバックする	作品を一応三角形にまとめることができる。	(復習)持ち帰った花材を、工夫して飾り写真を撮ること。 (復習)次週いけばなの歴史について的小テスト行うため復習しておくこと。	90	実行力 発信力 傾聴力 規律性
4	フラワーアレンジメントの基本的な形を学ぶ。 ステムを活かしたデザイン	講義 実技 作品チェック 小テスト・答あわせ・ 解説しフィードバックする	作品を、ステム(茎)を活かしまとめることができる。	(復習)持ち帰った花材を、工夫して飾り写真を撮ること。 (復習)次週トライアングュラススタイルの図を書く小テスト行うため復習しておくこと。	90	実行力 規律性
5	いけばなの基本的な形を学ぶ。 色の働きについて学ぶ。 傾斜形盛花	講義 実技 作品チェック 小テスト・答あわせ・ 解説しフィードバックする	基本の位置に、おおよそ花を生けることができる。	(復習)持ち帰った花材を、工夫して飾り写真を撮ること。 (復習)次週傾斜形盛花図を書く小テスト行うため復習しておくこと。	90	主体性 規律性
6	いけばなの基本的な形を学ぶ。 色の働きについて学ぶ。 傾斜形盛花	講義 実技 作品チェック 小テスト・答あわせ・ 解説しフィードバックする	基本の位置に、おおよそ花を生けることができる。	(復習)持ち帰った花材を、工夫して飾り写真を撮ること。 (復習)次週、身の回りの暖色、寒色、ロマンチック、ダイナミックなどの配色を探し写真を撮り提出。	90	主体性 規律性
7	花の形による分類を学び、 使用する花を分類にあてはめる。 オーバルスタイル	講義 実技(グループワーク) 作品チェック 提出課題有	作品を一応楕円形にまとめることができる。	(復習)持ち帰った花材を、工夫して飾り写真を撮ること。 (復習)次週フラワーデザインとは・花の形による分類の小テストを行うため復習しておくこと。	90	実行力 発信力 傾聴力 規律性
8	フラワーアレンジメントの基本的な形を学ぶ。 オールラウンドスタイル	講義 実技(グループワーク) 作品チェック 小テスト・答あわせ・ 解説しフィードバックする	作品をドーム形にまとめることができる。	(復習)持ち帰った花材を、工夫して飾り写真を撮ること。 (復習)次週オーバルスタイルの図を書く小テスト行うため復習しておくこと。	90	実行力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	いけばなの応用花形を学ぶ。 (色の働きについて学ぶ。予備)	講義 実技 作品チェック 小テスト・答あわせ・ 解説しフィードバックする	植物の特徴を活かし、 生けることができる。	(復習) 持ち帰った花材を、工夫して飾り写真を撮ること。 (復習) 次週色の働きなどについて的小テストを行うため復習をしておくこと。	90	主体性 規律性
10	いけばなの応用花形を学ぶ。	講義 実技 作品チェック 小テスト・答あわせ・ 解説しフィードバックする	植物の特徴を活かし、 生けることができる。	(復習) 持ち帰った花材を、工夫して飾り写真を撮ること。	90	主体性 規律性
11	基本的なコサージュの作り方を学ぶ ワイヤーのかけ方	講義 実技 作品チェック	コサージュを作ることができる。	(復習) 次週、身の回りの花を使った作品・ディスプレイなどで、気に入ったものを探し写真を撮り、好きな理由の説明を加え提出する。	90	実行力 規律性
12	葉物を活かしたデザインを学ぶ。 花留めの方法	講義 実技 作品チェック 提出課題有	葉の特徴を活かすことができる。	(復習) 持ち帰った花材を、工夫して飾り写真を撮ること。 (復習) オールラウンドスタイルの図を書く小テスト行うため復習しておくこと。	90	実行力 創造力 規律性
13	自分たちでフラワーアレンジメントの基本形の中から形を決め、アレンジする。	講義 実技 (グループワーク) 作品チェック 小テスト・答あわせ・ 解説しフィードバックする	自分たちで選択したデザインに仕上げることができる	(復習) 持ち帰った花材を、工夫して飾り写真を撮ること。 (復習) 次週フラワーデザイン用語・花留めについて的小テストを行うため復習をしておくこと。	90	実行力 発信力 傾聴力 規律性
14	いけばなの花形を自分で決め、生ける。	講義 実技 作品チェック 小テスト・答あわせ・ 解説しフィードバックする	自分で決めた花形に、 花を生けることができる。	(復習) 持ち帰った花材を、工夫して飾り写真を撮ること。	90	主体性 課題発見力 規律性
15	アーティフィシャルフラワーを使ったデザインを学ぶ。	講義 実技 作品チェック	作品を完成させることができる。	アーティフィシャルフラワーのアレンジを持ち帰り、飾り楽しむ。	90	課題発見力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力